

愛知淑徳学園 110 周年記念 交流文化学部講演会

サステイナブルな地域循環型者社会に向けての実践

～信州小布施・保科での試み～

青い目をした台風娘

セーラが

淑徳にやってきました!

長野県小布施町で日本文化をテーマに「北斎国際会議の誘致」や「桶仕込みの復活」「レストラン蔵部」など様々な地域活性化活動をおこなったセーラさんが2014年から長野市内の限界集落である保科地区に移り住みサステイナブルな地域循環型者社会に向けての実践を試みています。小布施と保科での取り組みについてお話頂きます。

講師

セーラ・マリ・カミングス

日時

2015年

11月18日(水)

17:00～18:30 (講演会)

会場

愛知淑徳大学

星が丘キャンパス 2号館 25A

名古屋市千種区桜が丘 23

交通

名古屋市営地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車

3番出口より徒歩3分

※駐車スペースはございませんので、公共交通機関でお越しください。

定員

200名

参加費

無料

主催

愛知淑徳大学 交流文化学部

セーラ・マリ・カミングス

株式会社文化事業部

米ペンシルベニア州立大学在学中、1991年に日本に留学。卒業後、再来日し長野の企業に就職。翌年小布施堂に入社。様々な文化旋風を起こし、小布施のまちづくりに多大なる貢献。1998年小布施堂、榊一市村酒造場の取締役役に就任。2002年日経ウーマンオブザイヤー受賞。現在、小布施堂から独立して、「農による地域循環型社会」と「日本文化」を継承していくための株式会社文化事業部を創業して代表取締役として活躍中。